

【水の木会 福祉職員キャリアパス①】

職位	職責	求められる能力	対応役職	職務内容	任用の要件		給与	備考
					習熟人必要な業務教育	必要経年数		
経営・管理職	経営に関与し、統括運営責任を負う	運営統括責任者として、自組織の目標を設定し、計画を立てて遂行する 必要な権限移譲を行い、部下の自主性を尊重して自立的な組織 運営環境を整える 人材育成、組織改革、法令遵守の徹底などを通じて、自組織を改善・向上させる 自らの公益性を理解し、他機関や行政に働きかけ、運営・協働を通じて地域の福祉向上に貢献する 所属する法人全体の経営の安定と改善に寄与する	部長 施設長	経営資源把握と戦略方針の明示・浸透 計画の進捗管理 監督・指導職育成	(監督指導職に加え) 経営関係研修 施設長関係研修	20年以上	年俸	(監督指導職に加え) 施設長資格
監督・指導職	部門の運営責任を負う	業務執行責任者として、状況を的確に判断し、部門の業務を円滑に遂行する 職員の育成と労務管理を通じて組織の強化を図る 提供するサービスの質の維持・向上に努める 経営環境を理解し、上位者の業務を代行する 他部門や地域の関係機関と連携・協働する 教育研修プログラムを開発・実施・評価する	施設長 副施設長	部門の管理・調整 指導職育成 業務内容検証・改善 リスクマネジメント 地域・他組織との連携	(指導職に加え) 業務管理研修	15～20年	年俸	(指導職に加え) 精神保健福祉士 社会福祉士 介護福祉士 作業療法士 公認心理師
指導職	チーム運営管理と部下指導	チームのリーダーとして、メンバー間の信頼関係を築く チームの目標を立て、問題解決に取り組む 上位者の業務を補佐・支援する 当該分野の高度かつ適切な技術を身につけ、同僚・後輩に対してモデルとなる 地域資源を活用して業務に取り組む 教育指導者として指導・育成等の役割を果たす 研究活動や発表などを通じて知識・技術の向上を図る	主任 リーダー	チームの管理・調整 部下指導育成 緊急対応、ストレスマネジメント 監督・指導職のサポート 地域・他組織との連携	(上級職に加え) 部下指導 育成研修 リスクマネジメント研修 リーダー研修 スーパービジョン研修	10～15年	10号俸～ 15号俸	(上級職に加え) サービス管理責任者 相談支援専門員 リーダー研修
上級職	難解な業務の遂行と後輩の指導	組織の中で自分の役割を理解し、担当業務を遂行する 職場の課題を発見し、チームの一員として課題の解決に努める 地域資源の活用方法を理解する 後輩を育てるという視点をもって、助言・指導を行う 業務の遂行に必要な専門的知識、技術の向上を図る 職業人としての自分の将来像を設定し、具現化する	リーダー	中級業務に加え、委員会や係業務等での連携・協力業務	(中級職に加え) リーダー研修	5～10年	5号俸～ 10号俸	(初級職に加え) 介護福祉士 准看護師 中堅職員研修
中級職	通常業務に加え、係や委員会を遂行する	組織の中で自分の役割を理解し、担当業務を遂行する 職場の課題を発見し、チームの一員として課題の解決に努める 地域資源の活用方法を理解する 後輩を育てるという視点をもって、助言・指導を行う 業務の遂行に必要な専門的知識、技術の向上を図る 職業人としての自分の将来像を設定し、具現化する	一般職員 嘱託職員	初級業務に加え、係業務等を担う 後輩指導	(初級職に加え) 中堅研修 業務改善研修 後輩指導研修	3～5年	1号俸～ 5号俸	
初級職	通常業務の遂行	指導・教育を受けつつ、担当業務を安全・的確に行う 組織・職場の理念と目標を理解する 担当業務に必要な制度や法令等を理解する 組織内の人間関係を良好にする 福祉の仕事を理解し、自己目標の設定に努める 仕事から生じるストレスを理解し対処方法を身につける 社会人・組織人・介護職員としての基本的スタンスを確立する		日常的基本業務 会議や係業務等に参加	(補助職に加え) 基礎的支援技術研修 虐待防止・権利擁護研修 障害特性基礎知識研修			
補助職	他者の補助業務	指導・教育を受けつつ、担当業務を安全・的確に行う 組織・職場の理念と目標を理解する 担当業務に必要な制度や法令等を理解する 組織内の人間関係を良好にする 福祉の仕事を理解し、自己目標の設定に努める 仕事から生じるストレスを理解し対処方法を身につける 社会人・組織人・介護職員としての基本的スタンスを確立する	パート職員	日常的補助業務	接遇マナー研修 基礎業務研修		パート 時給	

◎経験に応じて昇給する仕組み～経験に応じて、新任⇒リーダー⇒主任と昇格し、号俸が上がっていく。

◎資格に応じて昇給する仕組み～・有資格者とそれ以外では基本給表等級が異なる。

・就労支援に関する基礎研修の修了、相談支援専門員、サービス管理責任者研修の修了、国家資格等経験と共に取得することにより号俸が上がっていく。併せて資格に応じた手当が支給される。

◎評価の結果に応じて昇給する仕組み～評価の結果は賞与の査定に反映させる。